

NEWS RELEASE

www.jogmec.go.jp



独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構

問合せ先: CCS 事業部 倉本、城所 電話: 03-6758-8701

広報担当: 総務部 広報課 長田 電話: 03-6758-8106

CCS の社会実装に向けた LCO2 船舶輸送バリューチェーン共通化ガイドラインの発行について

JOGMEC(本部: 東京都港区、理事長: 高原 一郎)は、CCS の普及と拡大に向けて、「LCO2 船舶輸送バリューチェーン共通化協議会」(以下「協議会」)を設置し、CO₂ の船舶輸送における仕様共通化を目指し 2024 年度にガイドラインを策定し、今般交付を開始いたしました。

CCS (Carbon dioxide Capture and Storage、二酸化炭素回収・貯留)を社会実装させる上で、排出源から貯留適地まで大容量の CO₂ を船舶で長距離輸送することが不可欠です。しかしながら、大容量の液化 CO₂ (Liquified Carbon Dioxide、以下「LCO2」)を輸送できる船舶輸送技術は確立しておらず、各 CCS 事業で個別に仕様が検討されているのが現状です。また、CO₂ の船舶輸送は、そのバリューチェーンに複数工程(液化、一時貯蔵、荷役等)が発生するため、それぞれの要素の接続を含め、一連のフローとして検討することが必要です。

このような背景を踏まえ、JOGMEC は CCS 事業の普及と拡大に向けた支援を目的とし、経済産業省協力のもと協議会を設け、CO₂ の船舶輸送における仕様共通化および、それに伴う輸送コストの低減を目指しています。

本協議会の成果として、先進的 CCS 支援事業で活用されるとともに、将来 CO₂ の船舶輸送を行う CCS 事業を検討する際に参考となるよう、2024 年度にガイドライン(初版)を策定し、今般より交付を開始いたしました。今後、実効性の更なる確保に向けて、同ガイドラインの更新を検討していく予定です。

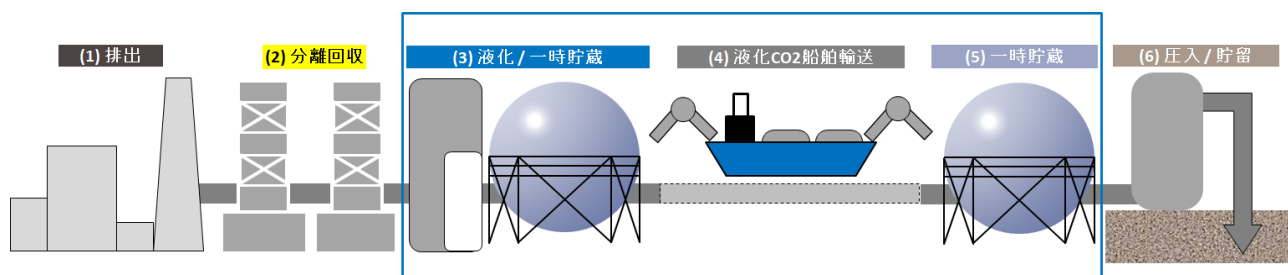
・LCO2 船舶輸送バリューチェーン共通化協議会(2025 年 3 月時点)

座長: 尾崎雅彦(東京大学名誉教授)

参加事業者: 32 社・団体

オブザーバー: 5 団体

・協議会で扱う検討範囲



協議会で扱う検討範囲(青枠)

上図、(1)排出(Emission)、(2)分離回収(Capture)、(3)液化／一時貯蔵(Liquefaction／Temporary Storage)、(4)液化 CO2 船舶輸送(Transportation)、(5)一時貯蔵(Temporary Storage)、(6)圧入／貯留(Injection／Storage)のうち、(3)から(5)までが検討範囲

【お申込み方法】

ガイドラインの交付をご希望の場合は、下記の交付申請書にご記入の上、下記「お申し込み先」までメールにてご送付下さい。

添付資料：「LCO2 船舶輸送バリューチェーン共通化ガイドライン」交付申請書

【お申込み先】

担当: JOGMEC CCS 事業部 倉本、城所

電話: 03-6758-8701

E-mail: application-lco2guidelines@jogmec.go.jp

【個人情報の取扱いについて】

詳細は下記「個人情報保護方針」をご参照下さい。

> [個人情報保護方針](#)

(URL: https://www.jogmec.go.jp/privacy_policy.html)

■ 参考

ニュースリリース: CCS事業化に向けた先進的取り組み～2030年度までのCO2貯留開始に向け、設計作業等について9案件を候補として選定～ 2024年6月28日

(URL: https://www.jogmec.go.jp/news/release/news_10_00191.html)